

現代の名工に

曲げ物の佐々木悌治ていじさん（74歳・中道）



佐々木さんの作品

曲げ作業中の佐々木さん

厚生労働大臣が表彰する卓越した技能者に、佐々木悌治さんが選ばれました。この卓越した技能者は、現代の名工とも呼ばれ、昭和42年に創設されました。

その基準は、「技能の程度が卓越しており、当該技能において第一人者と目されていること」、「表彰に係る技能を要する職業に関して、現役の技能者として従事している者であること」、「技能を通じて労働者の福祉の増進、産業の発展に寄与した者であること」、「他の技能者の模範と認められる者であること」と定められています。今年度は、全国から432人の推薦があった中から、150人が選ばれました。

曲げ物製作の機械を考察

佐々木さんは、手に職を付けたいと、秋田市内や大館市内の木工所に就職し、家具や建具職人として従事していました。昭和36年、市内の大館工芸社に入社。当時の工芸社では、曲げわっぱは作ってい

